学校番号	３２４

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2	年次	1
使用教科書	「家庭総合」　（東京書籍）						
副教材等	な　し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう。

・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

１．人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得する。

２．学習した知識や技術を生かし，家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育てる。

３．家族や社会との共生をめざし，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 授業プリントの記述 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 授業プリントの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 授業プリントの記述 レポート、発表 定期考査、 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 授業プリントの記述 レポート、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	自分らしい人生をつくる	○家庭科の学び方 ○ホームプロジェクトの意味と進め方について理解し、家庭科の学習を生活に生かし、地域に広げることを理解する。 ○生涯発達の視点 ○青年期の課題 ＊自己を知る ○目標をもって生きる ＊将来の生活を展望する	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。 d:青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント 定期考査
5月		○家族・家庭を見つめる ＊家族法クイズ ＊ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ ○これからの家庭生活と社会	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して、家族や家庭の在り方について検討する技術を身に付けている。 d:生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント 定期考査
6月 7月	子どもと共に育つ	○命を育む ○子どもの育つ力を知る ○親として共に育つ ・子どもの発達と保育 ・子どもの生活と保育 ＊ｺﾓﾝｾﾝｽﾍﾟｱﾚﾝﾃｨﾝｸﾞ ○子どもとの触れ合いから学ぶ ○これからの保育環境	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント ﾚﾎﾟｰﾄ 定期考査
		1学期期末考査						定期考査

8 月		○ホームプロジェクト 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトについて関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトを実践することができる。 d:ホームプロジェクトの実践に必要な知識を身に付けている。	ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価
9 月 10 月	高齢社会を生きる	○高齢期を理解する ○高齢者の心身の特徴 ＊高齢者疑似体験 ○高齢者を支える ○これからの高齢社会	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d:高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 定期考査
		2学期中間考査						定期考査
11 月	共に生き、共に支える	○私たちの生活と福祉 ○共に生きる 誰もが暮らしやすい社会を目ざしてユニバーサルデザイン	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:共生社会に関心を持つとともに、社会の一員としての自覚を持ち、ボランティア活動や支え合う活動など、主体的に行動しようとしている。 b:社会制度の理念と内容やボランティアの在り方について考えを深め、社会の一員として、共生社会を実現するために何が出来るか考え、工夫している。 c:共生社会の実現に向けて自分の出来ることは何か、情報を収集・整理したり、実践に生かすなど、支え合う活動に必要な技術を身につけている。 d:共生社会の重要性について理解している。社会福祉の基本的な理念や内容について、共生社会を実現するために必要な知識を身につけている。	授業観察 授業プリント ﾚﾎﾟｰﾄ 定期考査
12 月	住生活をつくる	○住生活について考える ○住生活の計画と選択 ＊住宅広告を読み取る ○住生活の文化 ○これからの住生活	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課	ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価 授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ

12 月							題を見いだし、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c:健康や安全に配慮した室内整備や住環境について情報を収集、整理し、検討することができる。 d:住居の機能、住空間の計画、住環境など、安全で快適な住まいについて科学的に理解している。	定期考査
		2学期末考査						定期考査
1 月	経済生活を営む	○職業生活を設計する ＊マネープランのシミュレーションゲーム ○計画的に使う ○国民経済・国際経済と家庭の経済生活 ○現代の消費社会 ○消費者の権利と責任 ○これからの消費生活と環境	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント 定期考査 自己評価 相互評価
2 月 ・ 3 月	生活を設計する	○生涯を見通す ・自分のめざすライフスタイルとは？ ・生涯を見通した生活設計	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:生涯を見通した自己の生活設計について関心を持ち、自己のライフスタイルや生活資源の活用の観点から、将来の生活設計や、自分の生活をマネジメントすることについて考えようとしている。 b:資源を有効活用した生活設計について考え、工夫している。自己実現を目指して、生活設計を考え、まとめたり、発表したりする。 c:生活をマネジメントする視点を持ち、生活設計の立案に必要な情報を収集・整理し、検討を行い、具体的な生活設計を立てることができる。 d:充実した人生を送るために、生涯を見通した生活設計の必要性を理解している。生活設計の意義や 生活設計に必要な要素など、生活設計を行うために必要な知識を身につけている。	授業観察 授業プリント 定期考査 自己評価 相互評価
		学年末考査		○	○	○		定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。